

令和4年度

事業報告

社会福祉法人けやきの会

社会福祉法人けやきの会 令和4年度事業報告	1
けやき作業所 令和4年度事業報告	2
第2けやき作業所 令和4年度事業報告	4
共同生活援助事業 令和4年度事業報告	6
ショートステイひとやすみ 令和4年度事業報告	8
相談支援センターけやき 令和4年度事業報告	9
ヒヤリハット報告書・事故報告書 令和4年度報告	10

社会福祉法人けやきの会 令和4年度事業報告

1. 社会福祉法人けやきの会理事会の開催（年3回）[6/2、11/15、令和5年3/14]
2. 社会福祉法人けやきの会評議員会の開催（年3回）[6/17、11/25、令和5年3/24]
3. 監事監査の実施 [5/24]
4. 知立市との委託契約の締結及び事業の実施(相談支援事業)
(地域生活支援拠点コーディネート事業)
5. 障害福祉サービスの実施事業
 - (1) けやき作業所（生活介護、就労継続支援B型）
 - (2) 第2けやき作業所（就労継続支援B型）
 - (3) ホームけやき太陽、八ツ田Ⅰさくら、八ツ田Ⅱひまわり、八ツ田Ⅲことり
(共同生活援助)
 - (4) ショートステイひとやすみ（短期入所）
6. 緊急一時事業の実施
7. 第27回社会福祉法人けやきの会と市民の集い・バザー中止
8. 第29回社会福祉法人けやきの会 新春の集いを開催 [令和5年1/20（金）]
9. 寄付金及び賛助会員の状況
 - ☆企業・団体 11件 3,404,998円（1,955,750円の寄贈物品含む）
 - ☆個人 11件 54,552円
 - ☆賛助会費 90件 344,000円
10. 収益事業の状況
 - 令和4年度カレンダー・夏冬物資販売 純利益 約48万円、カレンダー本数 843本
食品 1,216個
11. 独立行政法人福祉医療機構への建物償還借入金の返却
 - ホーム八ツ田Ⅱひまわり 840,000円(元金) 31,920円(利息) 残金 1,470,000円(元金)
 - ホーム八ツ田Ⅲことり 1,020,000円(元金) 32,273円(利息) 残金 8,670,000円(元金)
12. 各種協力団体等の総会、会議及び行事への参加
 - (1) 知立市社会福祉協議会理事会、社会福祉法人富士会評議員会に参加
 - (2) 知立市障害者自立支援協議会、及び各専門部会、知立市障害支援区分認定審査会、リングC役員会、草の根フェスティバル、知立市福祉健康まつり参加
13. 総括
 - ・県の監査（実地指導）があった。指摘事項だけではなく指摘されていない事項についても再確認し、職員間で情報共有するいい機会となった。今年度はけやき作業所とホームけやき太陽が対象だったのでそれ以外の事業所についても、いつ監査が来てもいいように書類を完備していきたい。
 - ・市の法人監査もあった。軽微な指摘事項はあったがおおむね問題はなかった。
 - ・非常食は前回購入時より5年経過、消費期限が近付いたので入替をした。
 - ・前年度に施設長が2人退職した。その後の体制作りで執行部を立て直し、なんとか運営してきた。職員の補充に力を入れ正規職員を4人採用した。更に募集は続けている。管理職の育成と定着が課題として残った。

けやき作業所 令和4年度事業報告

1. 経営状況

(1) 職員体制（令和5年3月末日現在）

① 生活介護事業（定員49名 現員44名）

管理者1名（就労継続支援B型兼務）

サービス管理責任者1名（就労継続支援B型兼務）

生活支援員：正職7名（ホーム兼務2名）非常勤11名

看護師：非常勤3名 理学療法士：非常勤1名

事務員：正職2名・非常勤1名 運転手：非常勤3名

② 就労継続支援B型事業（定員11名 現員11名）

管理者1名（生活介護事業兼務）

サービス管理責任者1名（生活介護事業兼務）

職業指導員：正職1名 生活支援員：非常勤2名 目標工賃達成指導員：正職1名

(2) 運営状況

① 稼働日数246日、利用率は生活介護79.7%（昨年92.4%）平均利用者数39.0人

（36.0人）、就労継続支援B型88.10%（89.0%）平均利用者数9.7人（9.8人）であった。

② 4月より生活介護事業の定員を10名増やした。

新規利用者6名の受入。退所者2名。

③ 正規職員4名の採用を行いました。（内1名退職）

④ 今年度も、感染予防のため、換気を行い密に配慮した環境づくり、施設内の消毒に取り組みました。ワクチン接種の呼びかけを行いました。2月に陽性者がでましたが早めの対応を行い、感染拡大を防ぐことができました。

⑤ 施設老朽化のため修繕を行いました。

トイレ洋式便器取替・電源設備・消防設備（誘導灯など）

厨房機器（冷蔵庫・保管庫）

⑥ 虐待通報があり、市からの聞き取りがあり改善計画書を提出しました。（7月）

⑦ 県の監査（実地指導）がありました。指導内容は、改善し報告済み。

⑧ 送迎加算算定ミスによる返還を行う。

⑨ 利用者工賃（1名当たり） 就労継続支援B型 12,241円（昨年11,280円）

2. 実施状況

(1) 実習受け入れ

安城特別支援学校 5名

刈谷特別支援学校 1名

雁ヶ音中学校特別支援学級 1名

至学館大学教職課程の介護体験実習 8名

知立市教員初任者研修 12名

(2) 行事・販売活動

令和4年	4月	弘法露店出店
	5月	弘法露店出店、消防訓練
	6月	弘法露店出店、健康診断
	7月	弘法露店出店、市の聞き取り
	8月	弘法露店出店、知立市教員初任者研修、特別支援学校実習
	9月	弘法露店出店
	10月	弘法露店出店、至学館大教員免許取得介護体験実習
	11月	弘法露店出店、消防訓練、県の監査
	12月	弘法露店出店、クリスマス会
令和5年	1月	弘法露店出店、新春の集い
	2月	弘法露店出店、市の法人監査
	3月	弘法露店出店

3. 職員育成や研修について

外部研修は、強度行動障害研修に参加をした。積極的に参加することができた。

内部研修は研修計画を立て、毎月1回研修を行うことができた。職員間のディスカッションもできた。

①虐待防止・接遇・報告・リーダーの心構え・個人情報・アセスメント・問題行動

②発達障害・聴き上手なリーダーとなるために・利用者の真の主訴を考える・チームで取り組む・記録の目的

新しい職員が増える中、新人研修を行い力量アップに取り組んでいる。

4. 全体総括

感染対策を行いながら、クリスマス会や新春の集いを実施した。

コロナの影響（外出自粛・活動の抑制など）が、利用者にストレスを与えていることをあらためて感じました。来年度は、コロナも5類相当になり対応も大きく変わらなければなりません。一日でも早く利用者の皆様の生活が、安心して過ごせるように取り組みをしていきます。

監査や虐待の聞き取りを通して施設運営や支援内容を見直す機会になった。内部研修にも取り組みサービスの質の向上に努めました。

施設の経年劣化に伴う修繕が多くありました。その都度対応を行いました。今後も増えてくると思われます。定期的な点検を行い早め早めの修繕を行っていきます。計画的な機材の入れ替えも検討していきます。

第2 けやき作業所 令和4年度事業報告

1. 経営状況

(1) 職員体制（令和5年3月末現在）

○就労継続支援B型事業

管理者 1名（サービス管理責任者兼務）

職業指導員 正職1名 非常勤1名

生活支援員 正職1名 非常勤4名

目標工賃達成指導員 非常勤2名

事務員 非常勤2名

(2) 就労支援事業経営状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日（喫茶 パン クッキー 軽作業合

計）

	令和3年度	令和4年度	前年比
収入	¥25,094,015	¥25,777,180	102.72%

- ・令和4年度もコロナ禍が続き売上に影響が出た。出張販売やイベントの販売は9月以降増え11月12月はコロナ禍前のように土日のイベント販売が増えて活気が出た。再開した地域のお祭りやイベントに声をかけていただき積極的に参加した。
- ・一年を通して緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置の発令はなかったがコロナ対策は十分に取りながら店を営業した。
- ・昨年度パンやランチの値上げを一度したが値上げ後も原材料の値上げが止まらず収支のバランスが崩れてしまう。値上げに際し取引業者からのアドバイスをいただき、来年度もう一度値上げをすることにした。
- ・知立市商工会主催のまんぷく一ぼんに参加し、229件の利用がありお客様の新規開拓や売上につなげることができた。
- ・令和3年度店売り上げ 13,897,789円 客数 17,571名
令和4年度店売り上げ 14,664,175円 客数 18,051名

2. コロナ対策について

- ・前年度と同様に、感染対策を実施した。
不特定多数のお客様が出入りする施設としてできる限りの対策を行った。
利用者、職員への感染対策も昨年同様に行った。

3. サービス利用状況
＜訓練等給付費収入＞

令和3年度	令和4年度	前年比
¥38,605,586	¥40,763,793	105.59%

- ・今年度は在宅の方2名を受け入れることができた。また、退所した利用者はいなかった。
- ・卒業後の進路の一つに第2 けやき作業所を選んでもらうべく特別支援学校からの実習生の受け入れを積極的に行うことができた。
- ・ほとんどの利用者がほぼ毎日利用してくれているが、全く通うことができない利用者、月数日のみ通う利用者がある。

4. 利用者工賃

工賃支払合計	平均工賃月額
¥7,782,433	¥24,628

- ・前年度より向上することができた。

5. コロナ感染者について

職員は4名、利用者は1名の感染者が確認された。家族が感染し濃厚接触者となった方が5名いた。それぞれけやきの規約通り隔離生活をした後復帰した。

6. 総括

前年度に引き続きコロナ禍での運営になった。イベント、行事等は感染者の増減に影響され参加の依頼があっても急遽中止になることがあった。秋にはイベントが増え出店の依頼を多くいただくことがあったが人手不足のためお断りすることもあった。正職員の増員と育成が課題となった。

スライサーを使用後、コンセントを抜こうとしたときに出火することがあった。幸いすぐに消火し大事にはならなかった。原因は不明。

共同生活援助 令和4年度事業報告

1. 経営状況

職員体制（令和5年3月末現在）

管理者1名 サービス管理責任者1名

世話人（正規職員）2名 （非常勤職員）11名

生活支援員（非常勤職員）13名、夜間支援員（非常勤職員）9名

1日のシフト状況（曜日により変更有）

①ホームけやき太陽（知立市上重原町本郷133番地 定員6名、現員6名）

世話人 1名、生活支援員 朝1名 夕1名

夜間支援員 1名

②ホーム八ツ田Ⅰさくら（知立市八ツ田町泉47番地 定員6名 現員6名）

世話人 1名、生活支援員 朝1名 夕1名

夜間支援員 1名

③ホーム八ツ田Ⅱひまわり（知立市八ツ田町泉48番地 定員8名 現員8名）

世話人 2名、生活支援員 朝1名 夕1名

夜間支援員 2名

④ホーム八ツ田Ⅲことり（知立市八ツ田町泉47番地1 定員4名 現員4名）

世話人 1名、生活支援員 朝1名 夕2名

夜間支援員 1名

2. コロナ感染者の発生、隔離等について

2月にホーム八ツ田Ⅰ、ホーム八ツ田Ⅲにて感染者が複数確認された。陽性が確認された利用者をホームで隔離することとし、症状の出していない利用者には自宅帰省していただいた。その間の対応を日中、夜間とも症状の出していない職員が交代で行った。陽性の職員は自宅待機とし、症状が出ないが休んでもらった職員には特別休暇として6割の時給を支給した。閉鎖期間中、陽性の利用者の支援をした職員には、勤務日数に応じ通常の給与等とは別に手当を支給した。待機期間後も陽性が増えることはなく収束した。

3. 利用状況

- ・ホームけやき太陽、ホーム八ツ田Ⅲことりは365日開所し、親が亡くなった方、週末や年末年始に家へ帰れない方の対応をした。
- ・けやき作業所、第2けやき作業所が休みの場合の日中活動は、他事業所の日中一時支援事業を利用して頂き、他事業所も休みの場合（お盆期間、年末年始）は職員が交代で出勤し対応した。

4. 実施状況

（1）新型コロナウイルスの感染対策

- ・前年度と同様に、手洗い、うがい、消毒等の感染対策を実施した。
- ・利用者の家族がコロナに感染し、週末に自宅帰省できない利用者の対応を行った。

(2) 活動内容

- ・誕生日会、ホームカラオケ等は継続し、ホーム内での時間を楽しんだ。
- ・訪問看護を取り入れ毎週実施し、利用者の健康管理を行い、緊急時には看護師への相談や支援を受けられる体制をとっている。
- ・個人契約で訪問歯科や訪問理容、リハビリ等を受けている利用者の見守りや支援を行った。
- ・保護者が利用者を病院へ連れていくことができない場合、けやきの会職員で通院支援を行った。
- ・土曜、日曜、休日の日中に他事業所を利用するための支援を行なった。
- ・入浴において、機械浴対応が必要な利用者にはホーム八ツ田Ⅲにて入浴支援を行った。
- ・自宅帰省時に薬の確認と保護者への引継ぎを行った。

(3) 避難訓練

- ・災害時に備えて、各ホームとも避難訓練を継続実施した。(年2回)
- ・特に八ツ田地域のホームについては、第2けやき作業所職員と協力して利用者避難のための合同訓練を行った。

5. 総括

- ・夜間支援員の人件費(勤務時間)の見直しや八ツ田Ⅰ、八ツ田Ⅱに新規利用者を受け入れ、安定運営につなげた。
- ・職員ミーティング等を行えず、職員間の情報共有や信頼関係づくりが不十分になってしまった。
- ・県の監査(実地指導)があり、指導を受けた内容について整理し職員間で情報共有、確認をするいい機会となった。
- ・10年以上使用したエアコンの入替をおこなった。10年以内のものはクリーニングを行った。今後は3~4年おきにクリーニングを実施していきたい。
- ・1年を通して職員不足に悩まされた。求人を出しているが応募者が全く来ない状況が続いていたが、現在少しずつ埋まってきている。土日の生活支援員はなかなか埋まらない。

短期入所事業 ショートステイひとやすみ 令和4年度事業報告

1. 経営状況

(1) 職員体制、対象者（令和5年3月末現在）

職員体制 管理者1名 非常勤職員2名（ホームと兼務）
その他必要に応じてけやき作業所、第2けやき作業所職員が応援に入る
勤務時間 16:00～翌9:00（うち22:00～7:00は休憩時間）
利用対象者 けやきの会の利用者、知立市内障害者
利用定員 3名

2. 実施状況

- ・専任の職員を採用育成できていないため、ホーム兼務の非常勤職員が対応できる曜日（週2日程度）の平日利用となった。又利用希望者の受け入れも限られ、ニーズに十分応えきれていない。尚、行動障害のある仲間については経験豊富な職員が泊まれる日で受け入れを行った。緊急時の市からの利用要請は0件でした。
- ・年間稼働日数 153 日、年間利用者数 153 人、延べ利用者数 296 人

3. 総括

利用者本人にとっては、将来親から離れて暮らすための自立訓練であり、家族にとっては負担の軽減や休息等のための利用が目的である。社会資源としての緊急時受け入れ先は市内にはけやき以外にないが、職員不足により緊急対応は難しい状況が続いている。

環境整備としてエアコンの入替をおこなった。

相談支援センターけやき 令和4年度事業報告

1. 経営状況

(1) 職員体制（令和5年3月末現在）

管理者1名（相談支援専門員を兼務）

相談支援専門員2名

(2) 運営状況

知立市の委託事業として、専任2人分の人件費と維持費から計画相談支援費を差し引いた額を委託料として運営をした。

2. 実施状況

(1) 令和4年4月～令和5年3月のサービス等利用計画作成件数（昨年度）

障がい者 計画作成 140件（130件） モニタリング 311件（272件）

障がい児 計画作成 37件（33件） モニタリング 66件（69件）

(2) 相談件数 4,442件（3,811件）

3. 職員研修

(1) 研修実施状況

相談支援現任研修

スキルアップ研修「罪に問われた障がい者支援を考える」

（一社）全国手をつなぐ育成会連合会

「令和4年度中央情勢報告～成年後見制度の見直しを中心に～」

(2) 各団体との会議に参加

①相談支援実務者会議参加（毎月）

②碧海地域相談支援ネットワークの会参加（隔月）

③前進会参加（年1回）

11月 けやき作業所、第2けやき作業所、グループホームの見学

4. 地域生活支援拠点等コーディネート事業について

24時間365日対応の電話について、掛かってきた電話は6件だった。内、時間外対応が3件だった。内容は利用者や事業者からの問い合わせだった。

緊急受け入れ等の対応が必要だったケースは1件だった。

年度当初に知立市福祉課、知立市社会福祉協議会、けやきの会で話し合いをもち、けやきの現状から、24時間365日の電話対応のみ継続して行うことになり取り組みを行った。

知立市の委託料は電話対応の人件費のみとなった。

ヒヤリハット報告書・事故報告書 令和4年度報告

1. 報告件数（カッコ内は前年度）

ヒヤリハット 36件(71件) 事故報告 33件(13件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ヒヤリ	3	7	6	8	4	2	1	1	1	0	1	2	36
事故	6	3	1	1	3	2	0	2	3	3	6	3	33

2. 主な報告内容

昨年よりも、ヒヤリハットは減少し事故報告は増えています。全体の件数は減っているため、ヒヤリハットなのか事故なのか、基準を見直し、全体で確認する必要があります。

内容は、仲間同士のトラブル、パニックによる物品破損、服薬忘れ、怪我、転倒などがあります。加えて車移動時の安全確認ミスや送迎時の車椅子フックかけ忘れ・送迎時の利用者の乗車もれ、降車もれ、保護者からのお金の出し忘れ等がありました。

3. 虐待報告：虐待通報は知立市に1件ありました。市福祉課の調査を受けた結果、虐待はなかったとされましたが、聞き取り調査の中で改善すべき事項が確認されました。改善報告書を提出しています。

4. 苦情解決委員会：苦情受付は、2件ありました。苦情を出された保護者と話し合いを持ち、改善策を報告し了承を頂き解決しました。